

協働テーマ

デジタルツール等を活用した災害時給水ステーション（給水拠点）の情報発信を行い、認知度向上につなげたい！

■ 現場課題

課題詳細

災害時給水ステーション（給水拠点）の存在の認知が約55%、最寄りの給水拠点の認知が約15%であり、認知度が低い状況。特に若年層への認知について課題があった。また、東京都が持つ媒体や区報・イベントでの告知はしているものの、近年この数値は横ばいとなっており、東京都が管理する媒体以外での認知拡大が求められていた。

課題解決による
想定成果・効果

1日200万回以上の利用がある、おでかけエンタメアプリ「プラリー」のチェックイン機能を活用することで、災害時給水ステーションの存在と最寄り（自宅、勤務・通学先等）ステーションの認知拡大を図った。

■ プロジェクト概要

課題に対する
ソリューション

プラリーの店舗認知拡大ソリューションである、「プレミアムチェックイン機能」を活用した災害時給水ステーションの存在と、自宅・勤務地最寄りステーションの認知促進策を実施。

協働
プロジェクト
内容

ポイ活をきっかけに実際にステーションへ赴ききっかけをつくとともに、概念の説明とアンケートを実施することで、災害時給水ステーションの存在と最寄りのステーションの認知拡大を図った。

- ・ 災害時給水ステーションを通常よりも多いポイントがもらえる「プレミアムチェックインスポット」に設定。
- ・ チェックインした方に、災害時給水ステーションの役割等の豆知識と、アンケート回答フォームを送付。
- ・ アンケート回答頂いた方に抽選でデジタルギフト券等を付与。

成果

実際にステーションへ赴く行動変容を創出することで、給水拠点の概念と最寄拠点の認知拡大に寄与。さらに、本施策への参加をきっかけに防災対策行動を起こすなど副次的な行動も確認。



50代男性

今回のプラリーとのコラボ企画は楽しみながら、給水ステーションの事が学べて有意義でした。



40代女性

今回のイベントで現地に行く良いきっかけになった。いざと言う時に役に立つ事を学べ大変有難かった！すぐ近くないと認識でき、家での水の備蓄の必要性を感じた。



30代女性

災害が起こった時について、家族で話さなければと思いつつ、つい後回しにしています。これを機会に、一度話してみようと思います！

① 給水拠点に近づいてチェックイン



② チェックインで報酬獲得



③ 給水拠点について学ぶ



④ 高ポイント獲得&アンケート回答

⑤ 抽選でデジタルギフトをプレゼント